

れいわ ねんどだい かいよこはまししょうがいしゃしきくすいしんきょうぎかい  
令和6年度第2回横浜市障害者施策推進協議会

にちじ れいわ ねん がつ にち げつようび ごご じ から ごご じ まで  
日時：令和6年11月25日（月曜日）午後3時から午後5時まで

ばしょ よこはまししちょうしゃ かい  
場所：横浜市市庁舎18階みなと1・2・3会議室

し だい  
《次 第》

1 かいかい  
開会

2 けんこうふくしきよくちょう  
健康福祉局長あいさつ

3 きだい  
議題

(1) かいちょうせんしゅつ  
会長選出について

4 ほうこくじこう  
報告事項

(1) あんしん施策にかかる事業実績について

(2) せいしんしょうがいしゃ たい りよかくてつどうかぶしきかいしゃとう りよかくうんちんわりびき  
精神障害者に対する旅客鉄道株式会社等の旅客運賃割引について

(3) よこはましほそうぐひしきゅう よう ひよう とくべつじよせいせいど  
横浜市補装具費支給に要する費用の特別助成制度について

(4) たきのうがたきよてん かんめ せいびしんちよく  
多機能型拠点（5館目）の整備進捗について

(5) しょうがいしゃしゅうかん かいさい  
障害者週間イベントの開催について

5 た  
その他

はいふしりょういちらん  
【配付資料一覧】

- |             |   |
|-------------|---|
| しりょう<br>資料1 | しきく じぎょうじっせき<br>あんしん施策にかかる事業実績について  |
| しりょう<br>資料2 | せいしんしょうがいしゃ たい りよかくてつどうかぶしきかいしゃとう りよかくうんちんわりびき<br>精神障害者に対する旅客鉄道株式会社等の旅客運賃割引について |
| しりょう<br>資料3 | よこはましほそうぐひしきゅう よう ひよう とくべつじよせいせいど<br>横浜市補装具費支給に要する費用の特別助成制度について                 |
| しりょう<br>資料4 | たきのうがたきよてん かんめ せいびしんちよく<br>多機能型拠点（5館目）の整備進捗について                                 |
| しりょう<br>資料5 | しょうがいしゃしゅうかん かいさい<br>障害者週間イベントの開催について   |

# 令和6 年度第2 回横浜市障害者施策推進協議会座席表

令和6 年11月25日時点

令和6 年11月25日( 月曜日) 午後3 時～午後5 時  
横浜市庁舎みなと1・2・3

柿沼 企画調整課長	入江 交通局総務課長	菊池 医療援助課長	林 経営戦略課担当課長					
○	○	○	○	○	○	○	○	○
松村 企画課長	近藤 福祉保健課長	稲垣 地域支援課長	金井 特別支援教育課長	高島 障害児福祉保健課長	長 障害施設サービス課	今井 障害自立支援課長	中村 精神保健福祉課長	坂下 障害施策推進課 計画推進担当係長
○	○	○	○	○	○	○	○	○
榑田 地域福祉保健部健康 推進担当部長	佐藤 健康推進部担当部長	北川 健康推進部医務担当 部長	小西 こころの健康相談セ ンター長	佐藤 健康福祉局長	君和田 障害福祉保健部長	西野 学校教育企画部インク ループ教育担当部長	柴山 こども福祉保健部担 当部長	中村 障害施策推進課長
○	○	○	○	○	○	○	○	○

出入口

記録席

傍聴席  
事務局席

出入口

マイク

マイク

通訳者

鈴木 敏彦委員					金井 緑委員
加賀谷 護委員	6			6	清水 龍男委員
滝沢 勉委員					飯山 文子委員
岩崎 多宏委員	5			5	大友 勝委員
松田 隆和委員					菅野 義矩委員
清水 武彦委員	4			4	佐伯 隆史委員
港 裕樹委員					加藤 伸輔委員
小野 孝俊委員	3			3	村山 美保子委員
介助者					介助者
渋谷 治巳委員	2			2	奈良崎 真弓委員
介助者					須山 優江委員
大橋 由昌委員	1			1	
		内嶋 順一委員		二宮 威重委員	

横浜市障害者施策推進協議会 委員名簿（令和8年7月13日まで）

	氏名	所属
1	阿部 浩之	社会福祉法人型地域活動ホーム連絡会（地域活動ホームガッツ・ビーと西所長）
2	飯山 文子	横浜知的障害関連施設協議会 副会長
3	岩崎 多宏	横浜市南部就労支援センター長
4	うちじま 内嶋 順一	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 担当理事
5	おおとも 大友 勝	とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいしんしょうがいしゃせいいかつしえんれんごうかい だいひょう 特定非営利活動法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会 代表
6	おおはし 大橋 由昌	こうぎきだんほうじんよこはまししんたいしょうがいしゃだんたいれんごうかい 副理事長（とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいかくしょうがいしやくしきょうかい 会長） 公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会 副理事長（特定非営利活動法人横浜市視覚障害者福祉協会 会長）
7	おの 小野 孝俊	こうぎきだんほうじんよこはまし しんたいしょうがいしゃだんたいれんごうかい 理事（よこはましじんゆうかい 事務局長） 公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会 理事（横浜市腎友会 事務局長）
8	かがや 加賀谷 護	にほんろうどうくみあひそうれんごうかいかながわけんれんごうかいよこはまちいきれんごう 事務局長 日本労働組合総連合会神奈川県連合会横浜地域連合 事務局長
9	かとう 加藤 伸輔	ピアサポートグループ在
10	かない 金井 緑	いっばんしゃだんほうじんかながわけんせいしんほけんふくしきょうかい 副会長 一般社団法人神奈川県精神保健福祉士協会 副会長
11	かんの 菅野 義矩	とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいしんしょうがいしゃそくれんごうかい 副理事長 特定非営利活動法人横浜市精神障害者家族連合会 副理事長
12	さえき 佐伯 隆史	いっばんしゃだんほうじんかながわけんせいしんかびょういんきょうかい 理事 一般社団法人神奈川県精神科病院協会 理事
13	しぶや 渋谷 治巳	よこはまししょうがいしゃいしやくしきょうほうしよれんらくかい 副会長 横浜市障害者地域作業所連絡会 副会長
14	しみず 清水 武彦	かながわけんりつせやしえんがっこうこうちよう 神奈川県立瀬谷支援学校校長
15	しみず 清水 龍男	よこはまししんしんしょうがいじしやまもれんめい 代表幹事 横浜市心身障害児者を守る会連盟 代表幹事
16	すずき 鈴木 敏彦	しゅくとくだいがくふくがくちよう こうとうきょういけんきゅうかいほつ きょうじゆ ちいきれんけい ちよう 淑徳大学副学長・高等教育研究開発センター教授、地域連携センター長
17	すやま 須山 優江	こうぎきだんほうじんよこはまししんたいしょうがいしゃだんたいれんごうかい 副理事長（よこはましちゆうとしちゆう 難聴者協会 会長） 公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会 副理事長（横浜市中途失聴・難聴者協会 会長）
18	たきざわ 滝沢 勉	よこはまこうきょうしよくきょうあんていじよ 所長 横浜公共職業安定所 所長
19	ながた 永田 孝	よこはまし urenらくかい にゆうきしやがかいぶかいちよう 横浜市グループホーム連絡会 入居者部会部会長
20	ならざき 奈良崎 真弓	にじいろでGO! 会長
21	にのみや 二宮 威重	いっばんしゃだんほうじんよこはまし し かい じようむり じ 一般社団法人横浜市歯科医師会 常務理事
22	まつだ 松田 隆和	よこはまししたいしょうがいしゃふくしきょうかい 横浜市肢体障害者福祉協会
23	みずの 水野 千鶴	いっばんしゃだんほうじんよこはまししikai じようにんりじ 一般社団法人横浜市医師会 常任理事
24	みなと 港 裕樹	よこはましせいしんしょうがいしゃせいいかつしえん れんらくかい いずみくせいかつしえん めぼ しせつちよう 横浜市精神障害者生活支援センター連絡会（泉区生活支援センター芽生え施設長）
25	むらやま 村山 美保子	よこはま きょうかい わいびーえす 横浜ピアスタッフ協会（Y P S）副会長

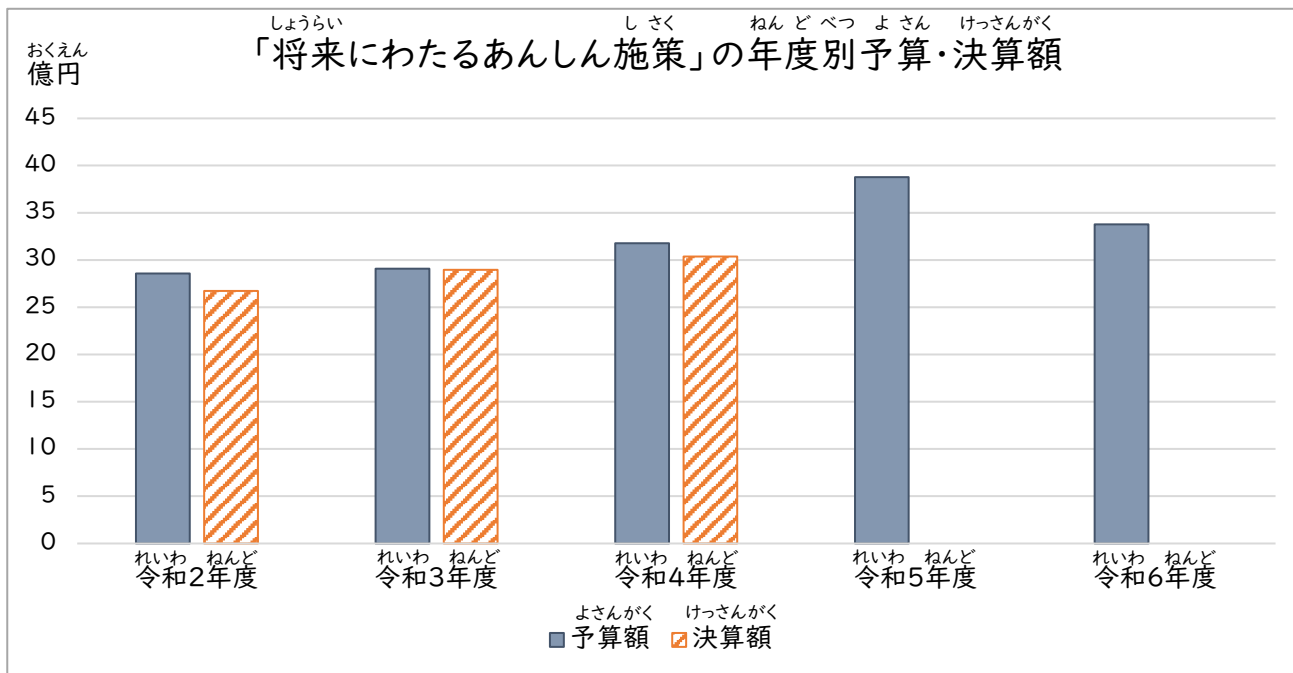
令和6年度 横浜市障害者施策推進協議会事務局名簿

くぶん 区分	きよぐめい 局名	ほしよぐめい 補職名	しめい 氏名	
じむきょく 事務局	けんこうかくしきょく 健康福祉局	けんこうかくしきょくちよう 健康福祉局長	さとう たいすけ 佐藤 泰輔	
		けんこうすいしんがいのたんとうぶちよう いりようきょくそうむふいむたんとうぶちよう 健康推進部医務担当部長(医療局総務部医務担当部長)	きたがわ ひろなお 北川 寛直	
		しんがいかくしほけんがちよう 障害福祉保健部長	きみわた たけし 君和田 健	
		けんこうかくしきょくちよう 健康福祉局担当部長(こころの健康相談センター長)	こにし じゆん 小西 潤	
		けんこうすいしんがちよう 健康推進部担当部長	さとう 真理代 佐藤 真理代	
		けんこうすいしんがちよう 健康推進部長	といだ みちこ 樋田 美智子	
		しやうがいしきょくすいしんがちよう 障害施策推進課長	なかむら つよし 中村 剛志	
		せいしんほけんかくしほけんがちよう 精神保健福祉課長	なかむら ひでお 中村 秀夫	
		しやうがいじりつしえんがちよう 障害自立支援課長	いまい ともこ 今井 智子	
		しやうがいしせつ 障害施設サービス課長	おおつ ごお 大津 豪	
		きかくがちよう 企画課長	まつむら たけや 松村 健也	
		ふくしほけんがちよう 福祉保健課長	こみだ じゆん 近藤 崇	
		ふくしほけんがちよう 福祉保健課福祉保健センター担当課長	くどう けいこ 工藤 恵子	
		ちいさしえんがちよう 地域支援課長	いながき じゆんこ 稲垣 純子	
		いりようえんじゆかちよう 医療援助課長	きくち じゆん 菊池 潤	
	こどもせいしやうきょく 子ども青少年局	こどもせいしやうきょくちよう 子ども青少年局長	ふくしま せいや 福嶋 誠也	
		こどもふくしほけん部担当部長 こども福祉保健部担当部長	しばやま かずひこ 柴山 一彦	
		しやうがいじゆかちよう 障害児福祉保健課長	たかしま ともこ 高島 友子	
		きかくちようせいがちよう 企画調整課長	かきめま ちひろ 柿沼 千尋	
	きやういっくいんかいじむきょく 教育委員会事務局	がっこうきやういっくいんかいじむきょく 学校教育企画部インクルーシブ教育担当部長	にしの ひとし 西野 均	
		とくべつしえんきやういっくいんかいじむきょく 特別支援教育課長	かない くにあき 金井 国明	
	かんけいきょく 関係局	せいさくけいさうきょく 政策経営局	けいさくせんりやくたんとうぶちよう 経営戦略担当課長	はやし まさたか 林 正隆
		けんちきょく 建築局	じゆうたいせいか たんとくちよう 住宅政策課担当課長	いしづ けいすけ 石津 啓介
		こうつうきょく 交通局	そうむかちよう 総務課長	いりえやうじろう 入江洋二郎

しむたんどう 事務担当	けんこうふくしよく 健康福祉局	しょうがいしさずいしんか しざくちようせいかりちよう 障害施策推進課調整係長	かわはた はやと 川端 勇飛		
		しょうがいしさずいしんかかいてい 障害施策推進課計画推進担当係長	さかした しんご 坂下 新悟		
		しょうがいしさずいしんか たんどうかりちよう 障害施策推進課指定・システム担当係長	よねやま のぞみ 米山 のぞみ		
		しょうがいしさずいしんか たんどうかりちよう 障害施策推進課担当係長	さき せいき 佐々木 隼行		
		しょうがいしさずいしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施策推進課共生社会等推進担当係長	いながさ ひでき 稲垣 秀樹		
		しょうがいしさずいしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施策推進課相談支援推進係長	わたなべ ひろみ 渡辺 弥美		
		しょうがいしさずいしんかたんどうかりちよう 障害施策推進課担当係長	おおの かずよし 大野 和義		
		しょうがいしさずいしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施策推進課区分認定係長	うめつ あやこ 梅津 亜矢子		
		せいしんほけんくしかせいしんほけんくしかかりちよう 精神保健福祉課精神保健福祉係長	かつき まさき かつき 正樹		
		せいしんほけんくしかたんどうかりちよう 精神保健福祉課担当係長	く ぼひろき 久保裕樹		
		せいしんほけんくしかきょうせいしんかたんどうかりちよう 精神保健福祉課救急医療係長	お けいこ 小 礼子		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害自立支援課福祉給付係長	しょうじ ゆうし 正寿 弘		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害自立支援課障害サービス担当係長	うめた ひさよし 梅田 久嘉		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害自立支援課移動支援係長	ひがしひろこ 東 宏子		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害自立支援課社会参加推進係長	ゆうち ゆうじ 藤森 祐次		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害自立支援課就労支援係長	おおの さとる 大野 悟		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施設サービス課施設管理係長	しなだ かずのり 品田 和紀		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施設サービス課整備推進担当係長	はたした ようまけ 畑下 陽介		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施設サービス課担当係長	ながと すすむ 長戸 泰弘		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施設サービス課地域施設支援係長	さかい りょうすけ 坂井 良輔		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施設サービス課施設等運営支援係長	のぐち けいたろう のぐち けいたろう		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害施設サービス課共同生活援助担当係長	さとう ひろかず 佐藤 央一		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう こころの健康相談センター相談援助係長	さかた みず恵 坂田 瑞恵		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう こころの健康相談センター依存症等対策担当係長	まきの かおり 牧野 香織		
		しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう こころの健康相談センター担当係長	よしだ ひろみつ 吉田 裕光		
		きかくかきかくかりちよう 企画課企画係長	くすた ゆうじ 楠田 裕司		
		こども青少年局	しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	しまだ けいいち 嶋田 慶一	
			しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	すかわら まさのり 菅原 政則	
			しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	ながみ とおる ながみ 徹	
			しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	はぎわら まさこ 萩原 昌子	
			しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課整備担当係長	びらう なおこ 比叡 直子	
			しょうがいじりつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	やまだ かずまき やまだ かずまき	
			きかくちようせいしんかたんどうかりちよう 企画調整課担当係長	やまだ 一貴 山田 一貴	
		きょういくいんかいじむきよく 教育委員会事務局	とくべつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 特別支援教育課担当係長	いくの ちとやす 生野 元康	
			とくべつしんかきょうせいしんかたんどうかりちよう 特別支援教育課担当係長	さくらい 寛大 櫻井 寛大	
		かんけいしよく 関係局	せいさくけいせいしよく 政策経営局	いせいしんりやん たんどうかりちよう 経営戦略課担当係長	のなかい しょう 野中 大介
			けんちくしよく 建築局	しゅうたいさく たんどうかりちよう 住宅政策課担当係長	とうかい 志朗 東海 志朗
			こうつうしよく 交通局	しんりやん たんどうかりちよう 総務課庶務係長	てらもり さとる 寺代森 悟
					たぬま しょう 田沼 庄

しょうらい じっせきほうこく  
「将来にわたるあんしん施策」の実績報告について

じぎょうひよさん けっさんかく  
I 事業費予算・決算額



	れいわ ねんど 令和2年度	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度
よさんかく 予算額	おく せん 28億5千 ひやくまんえん 7百万円	おく 29億 ひやくまんえん 8百万円	おく せん 31億7千 ひやくまんえん 8百万円	おく せん 38億7千 ひやくまんえん 7百万円	おく せん 33億7千 ひやくまんえん 8百万円
けっさんかく 決算額	おく せん 26億7千 ひやくまんえん 2百万円	おく せん 28億9千 ひやくまんえん 6百万円	おく せん 30億3千 ひやくまんえん 7百万円	しゅうけいちゅう 集計中	-

2 第4期障害者プランにおける主な取組内容、実績・進捗

施策の柱ごとに、主な取組を抜粋して記載しています。

(1) 親なき後も安心して地域生活が送れる仕組みの構築		
<p>【事業名】 後見的支援制度</p>	<p>【事業内容】 障害者本人や家族に寄り添い、漠然とした将来の不安や悩みを一緒に考え、親なきあとも安心して暮らすことができる地域での見守り体制を構築します。</p>	<p>【令和5年度実績(年度末時点)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施か所数 18か所(各区1か所)</li> <li>○登録者数 2,060人</li> <li>○あんしんキーパー数 1,535人</li> </ul> <p>【課題と今後の方向性】 本制度を必要とする障害者は多く潜在すると考えられるため、制度を広く普及させ、必要とする人につないでいきます。また、地域における見守り体制の強化が必要であるため、あんしんキーパーの担い手の拡充に向け取り組んでいきます。</p>

【事業名】

多機能型拠点の  
整備・運営

【事業内容】

常に医療的ケアを必要とする重症  
心身障害児・者等とその家族の地域  
生活を支援するため、相談支援、  
短期入所、生活介護、診療、訪問  
看護や居宅介護などを一体的に  
提供する多機能型拠点を整備・運営  
します。

【令和5年度実績（年度末時点）】

市内6館整備予定のうち3館開所済  
(郷/栄区、つづきの家/都筑区、  
こまち/瀬谷区)

○4館目整備の進捗状況

しゅん工、開所準備完了

(令和6年4月1日開所)

設置・運営法人 (福)横浜共生会

施設名:び・すけっと菊名/港北区

○登録者数

・短期入所 580人

・日中一時支援 443人

・生活介護(郷を除く) 61人

【課題と今後の方向性】

5館目については西区老松町に整備を  
予定しています。令和6年度中に、運営  
法人の選定を行う予定です。  
引き続き6館整備に向け、様々な手法を  
検討しながら、早期の整備に向けて取り  
組んでいきます。



しょうがいしゃ こうれいか じゅうどか たいおう  
**(2) 障害者の高齢化・重度化への対応**

じぎょうめい  
**【事業名】**

しょうがいしゃ  
 障害者グループ  
 ホーム設置  
 うんえいひほじょじぎょう  
 運営費補助事業

じぎょうないよう  
**【事業内容】**

しょうがいしゃ こうれいか じゅうどか たいおう  
 障害者の高齢化・重度化への対応  
 のため、高齢化・重度化対応グループ  
 ホームを拡充します。  
 また、利用するグループホームが  
 こうれいか じゅうどかとう せいかつ  
 高齢化・重度化等により、生活が  
 こんなん ばあい  
 困難となる場合に、グループホーム  
 のバリアフリー等改修に係る経費を  
 ほじょ  
 補助します。

れいわ ねんどじっせき ねんどまつじてん  
**【令和5年度実績(年度末時点)】**

こうれいか じゅうどかたいおう  
 ○ 高齢化・重度化対応グループホーム  
 せっちすうおよ ていいんすう  
 設置数及び定員数  
 せっちすう かしょ  
 設置数:3箇所  
 ていいんすう にん  
 定員数:26人

**【内訳】**

こうれいか かしょ ていいん にん  
 高齢化:2箇所、定員16人  
 じゅうどか かしょ ていいん にん  
 重度化:1箇所、定員10人

どうかいしゅうけいひ ほじょけんすう  
 ○バリアフリー等改修経費補助件数  
 けん へいせい ねんど るいせき けん  
 1件(平成24年度から累積17件)

かだい こんご ほうこうせい  
**【課題と今後の方向性】**

こうれいか たいおう じゅうどししょうがいしゃ かた しえん  
 高齢化への対応や重度障害者の方の支援  
 さく きょうぎ にゆうしよせつ  
 策を協議するため、入所施設やグループホ  
 ームの運営事業者団体との協議の場を  
 うんえいじぎょうしゃだんたい きょうぎ ば  
 設置しました。引き続き、持続的に実現可能  
 な仕組みを検討していきます。  
 どうかいしゅうじぎょう ひつようせい みと  
 バリアフリー等改修事業は、必要性が認め  
 られるグループホームについて整備を進め  
 てきました。今後とも、利用者の状態変化に  
 たい てきせつ じき ひつよう  
 対し、グループホームが適切な時期に必要な  
 かいしゅう せいど あんない じぜん  
 改修ができるよう、制度の案内や事前の  
 ちょうさ けいぞく じっし  
 調査を継続して実施していきます。

<p>【事業名】  <small>じぎょうめい</small>          民間住宅居住  <small>みんかんじゅうたくきょじゅう</small>          支援事業  <small>しえんじぎょう</small></p>	<p>【事業内容】  <small>じぎょうないよう</small>          障害者が民間賃貸住宅への入居を  <small>しょうがいしゃ みんかんちんたいじゅうたく にゆうきよ</small>          しやすくする仕組みとして「住宅セー  <small>し く じゅうたく</small>          フティネット制度」を活用し、住宅の  <small>せいど かつよう じゅうたく</small>          マッチングや入居支援などを行いま  <small>にゆうきよしえん おこな</small>          す。          また、平成30年度に設立したよこは  <small>へいせい ねんど せつりつ</small>          ま住まいサポート（横浜市居住  <small>よこはましきょじゅう</small>          支援協議会）では、住宅確保  <small>しえんきょうぎかい じゅうたくかくほ</small>          要配慮者やオーナー等からの相談  <small>ようはいりよしゃ どう そうだん</small>          に対し、住宅の紹介や福祉相談  <small>たい じゅうたく しょうかい ふくし しょうだん</small>          窓口の紹介等を行う相談窓口を  <small>まどぐち しょうかいどう おこな そうだんまどぐち</small>          開設しています。令和5年3月から  <small>かいせつ れいわ ねん がつ</small>          は、相談者に寄り添った居住支援を  <small>しょうだんしゃ よ そ きょじゅうしえん</small>          行うサポーター制度の運用を開始  <small>おこな せいど うんよう かいし</small>          し、不動産や福祉の事業者との連携  <small>ふどうさん ふくし じぎょうしゃ れんけい</small>          を強化しています。  <small>きょうか</small></p>	<p>【令和5年度実績（年度末時点）】  <small>れいわ ねんどじっせき ねんどまつじてん</small>          ○相談件数  <small>しょうだんけんすう</small>          516件（合計2,381件のうち、障害者から  <small>けん ごうけい けん しょうがいしゃ</small>          の相談件数）  <small>しょうだんけんすう</small>          【課題と今後の方向性】  <small>かだい こんご ほうこうせい</small>          高齢化や単身世帯の増加により、相談窓口  <small>こうれいか たんしんせたい ぞうか そうだんまどぐち</small>          に寄せられる相談は、障害に関するものだけ  <small>よ そうだん しょうがい かん</small>          ではなく複合的な課題を抱えている内容が  <small>ふくごうてき かだい かか ないよう</small>          多いです。相談窓口と、居住支援を行う  <small>おお そうだんまどぐち きょじゅうしえん おこな</small>          不動産や福祉の事業者、支援機関との連携  <small>ふどうさん ふくし じぎょうしゃ しえんきかん れんけい</small>          を強化することにより、障害者の状況に応じ  <small>きょうか しょうがいしゃ じょうきょう おう</small>          たきめ細やかな支援を進めます。  <small>こま しえん すず</small></p>
--	--	---

ちいきせいかつ こま たいおう  
**(3) 地域生活のためのきめ細かな対応**

**【事業名】**

しょうがいじしゃ いりょう  
 障害児者の医療  
 かんきょうせいびじぎょう  
 環境整備事業

**【事業内容】**

しょうがいじしゃ しゃ みぢか ちいき てきせつ  
 障害児・者が身近な地域で適切な  
 いりょう う かんきょう すすん  
 医療が受けられる環境づくりを推進  
 するため、しょうがいとくせいとう りかい てきせつ  
 障害特性等を理解し適切な  
 いりょう ていきょう いりょうきかん ぶん  
 な医療を提供できる医療機関を増  
 やします。  
 また、いりょうてき じ しゃとう ちいき  
 医療的ケア児・者等の地域  
 せいかつ しえん ひつよう しえん  
 生活への支援として、必要な支援を  
 そうごうてき ちょうせい よこはまがたいりょうてき  
 総合的に調整する「横浜型医療的  
 ケア児・者等コーディネーター」の  
 ようせい はいち しょぞく しせつ じぎょうしょ  
 養成と配置、所属する施設・事業所  
 とうにおいて、いりょうてき じ しゃとう  
 等において、医療的ケア児・者等の  
 うけい せつきよくてき おこな しえん  
 受入れを積極的に行えるよう支援  
 にひつよう ちしき ぎじゆつ ふきゅうけいはつ  
 に必要な知識・技術の普及啓発を  
 おこな よこはまがたいりょうてき じ しゃとう  
 行う「横浜型医療的ケア児・者等  
 しえんしゃ ようせい おこな  
 支援者」の養成を行います。

**【令和5年度実績(年度末時点)】**

- ちてきしょうがいしゃせんもんがいらいせつちいりょうきかん  
 知的障害者専門外来設置医療機関 の  
 かしよすうおよ じゆしんしゃすう  
 箇所数及び受診者数  
 せつちすう びょういん じゆしんしゃすう じん  
 設置数:5病院、受診者数:237人
- いりょうてき じ しゃとう  
 医療的ケア児・者等コーディネーター相談  
 けんすう けん  
 件数:732件
- いりょうてき じ しゃとうしえんしゃようせいけんしゅう  
 医療的ケア児・者等支援者養成研修  
 しゅうりょうしゃすう じん るいけい じん  
 修了者数:57人(累計241人)

**【課題と今後の方向性】**

- ちてきしょうがいしゃせんもんがいらいせつちいりょうきかん  
 知的障害者専門外来設置医療機関につ  
 いて、なんぶほうめん せつちてき  
 いて、南部方面に設置出来ておらず、  
 かしよすう すく なんぶほうめん しょめ  
 箇所数も少ないため、南部方面に6か所目  
 の設置をめざします。また、みぢか  
 身近なかかりつ  
 い てきせつ いりょう う  
 け医で適切な医療が受けやすくなるよう、  
 いりょうじゅうじしゃ たいしゅう しょうがいりかい そくしん  
 医療従事者を対象とした障害理解の促進  
 につながる研修を行います。

- いりょうてき じ しゃとうしえんそくしんじぎょう  
 医療的ケア児・者等支援促進事業につい  
 て、いりょうてき じ しゃとう たいおう しせつ  
 て、医療的ケア児・者等に対応できる施設・  
 じぎょうしょとう すく いりょうてき じ  
 事業所等が少ないため、医療的ケア児  
 しえんほう しこう ふ ほいく きょういくぶんや  
 支援法の施行も踏まえ、保育・教育分野で  
 うけい そくしん ほか  
 の受入れ促進を図ります。

- ・ かいさい ふく しえんしゃようせい ちゃくじつ  
 オンライン開催も含め支援者養成を着実  
 すす  
 に進めるとともに、フォローアップ研修の  
 じっしとう かんけいきかん れんけいきょうか すす  
 実施等により関係機関の連携強化を進めま  
 す。

- ・ にんちど こうじょう  
 コーディネーターの認知度を向上させ、  
 ちいき しえんしゃ かんけいきかん いりょうてき じ  
 地域の支援者や関係機関が医療的ケア児・  
 しゃ たいおう そうだん  
 者の対応についての相談をしやすいとします。

<p>【事業名】 移動情報センター 一運営等事業</p>	<p>【事業内容】 移動支援に関する情報を集約し、一人ひとりにあった適切な情報を提供することや、移動支援を支える人材の発掘・育成を行う移動情報センターを全区に設置し、市内のどの地域でも移動支援の仕組みを効果的に利用できるようにします。</p>	<p>【令和5年度実績(年度末時点)】 ○相談件数 2,563件</p> <p>【課題と今後の方向性】 今後は、移動情報センターの更なる周知を図ることでセンターが広く認知され、活用が進むよう取り組んでいきます。また、運営の充実に向けて、移動に関連する社会資源との連携を深め、センター運営協議会等において効果的な取組事例を共有することにより、相談時に移動に関わる適切な情報が提供できるよう取り組んでいきます。</p>
<p>【事業名】 障害者自立生活 アシスタント</p>	<p>【事業内容】 地域で単身等で生活する障害者に対して、自立生活アシスタントが、その障害特性を踏まえて、具体的な生活場面での社会適応力を高める助言を中心とした支援を行います。</p>	<p>【令和5年度実績(年度末時点)】 ○実施か所数 36か所(知的・精神・高次脳機能障害対象)</p> <p>○登録者数 のべ782人</p> <p>【課題と今後の方向性】 障害者の地域移行を進める中で、本事業の必要性は高いものと考えられます。法定サービスである自立生活援助との整理を明確にし、引き続き、必要な方に支援が届くよう関係機関への周知やアシスタントのスキルアップに努めます。</p>

## 精神障害者に対する旅客鉄道株式会社等の旅客運賃割引について

令和7年4月1日から精神障害者に対する旅客鉄道株式会社等の旅客運賃割引が始まります。割引の対象となるためには、精神障害者保健福祉手帳に1種か2種の種別の記載が必要となります。種別の記載を希望する方には、申出により、種別が記載されたシールを郵送しますので、お手持ちの精神障害者保健福祉手帳にお貼りください。

今お手持ちの精神障害者保健福祉手帳を再発行したり、市役所や区役所にお持ちいただく必要はありません。

### 1 旅客鉄道株式会社旅客運賃減額種別について

- (1) 旅客運賃の割引対象に精神障害者保健福祉手帳所持者が追加されます。身体障害者手帳・愛の手帳（療育手帳）所持者は以前から割引対象となっていました。
- (2) 割引の種別は、身体障害者手帳・愛の手帳（療育手帳）と同様に1種2種とし、精神障害者保健福祉手帳の障害等級1級は1種、2級3級は2種となります。
- (3) 旅客鉄道株式会社等の旅客運賃割引を受けるには、精神障害者保健福祉手帳に1種もしくは2種の記載があること、有効期限内であること、顔写真が貼ってあることが必要となります。

(4) 割引の適用範囲、割引区間並びに割引乗車券の種類、割引率及び購入方法等について

では、旅客鉄道株式会社等がそれぞれ設定することとなります。

<参考> J R グループ記者発表資料より

(1) 介護者の方と一緒にご利用になる場合

① 手帳をお持ちの方と介護者の方には、同一区間の乗車券類をお買い求めいただきます。

② 割引となる介護者の方は1名です。

対象者	対象となる乗車券類	割引率
第1種精神障害者の方と 介護者の方	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通乗車券</li> <li>回数乗車券</li> <li>普通急行券</li> <li>定期乗車券（小児定期乗車券を除きます。）</li> </ul>	5割
12歳未満の第2種精神 障害者の方と介護者の方	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期乗車券</li> <li>（小児定期乗車券を除きます。）</li> </ul>	5割

(2) 手帳をお持ちの方がおひとりでご利用になる場合、片道の営業キロが100キロを超える場合に限り、

対象者	対象となる乗車券類	割引率
<ul style="list-style-type: none"> <li>第1種精神障害者の方</li> <li>第2種精神障害者の方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通乗車券</li> </ul>	5割

## 2 精神障害者保健福祉手帳への種別記載の申出方法について

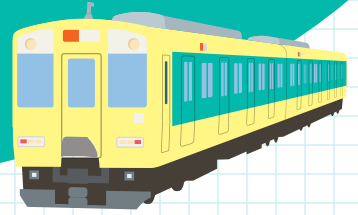
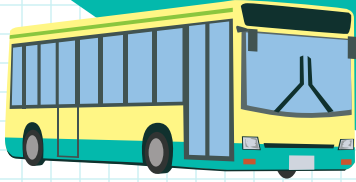
- (1) 既に手帳をお持ちの方は、郵送もしくは、横浜市電子申請・届出システムで、健康福祉局 精神通院医療・手帳事務処理センター 鉄道割引担当にお申出ください。12月中旬から受付開始予定です。(申出用紙はホームページからダウンロード、もしくは、区役所などに置いてあります。)
- (2) 令和7年1月以降、申出いただいた方から順次、1種もしくは2種と書かれたシールが郵送で送られてきます。そのシールをお手持ちの手帳に貼っていただきます。
- (3) 今お持ちの、精神障害者保健福祉手帳を再発行したり、市役所や区役所に提出する必要はありません。
- (4) 令和7年1月1日以降、新たに精神障害者保健福祉手帳を申請する方や、再発行を申請する方は、新しい精神障害者保健福祉手帳に最初から種別が記載されていますので、シールを貼る必要はありません。

裏面  
申出書

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方も

令和7年  
4月1日

# 電車等の運賃割引制度が 開始されます



令和7年4月1日以降に電車やバスの運賃割引を受けるには、手帳に旅客運賃減額の表示  
(第1種/第2種)が必要になります。

障害等級が1級の方は「第1種」、2級・3級の方は「第2種」の区分となります。

そのため、横浜市では第1種/第2種を表示したシールを希望者に配布しますのでオンライン  
もしくは郵送で申込みをしてください。

割引の対象者、取扱区間、割引率、介護者等の取り扱いは、各交通事業者によって異なります。  
割引詳細は、直接、各交通事業者にお問い合わせください。

## 申込みが必要な方

現在、**横浜市**の精神障害者保健福祉手帳をお持ちで  
令和7年4月1日以降に旅客運賃の割引を希望する方

※手帳に顔写真の貼付がない場合は割引対象外となるため、再交付申請(写真あり)を行ってください。

※令和7年1月以降に精神障害者保健福祉手帳の申請をする方で、新しい手帳が発行される場合(新規、市外転入、  
更新(更新欄がすべて埋まっている)、等級変更、再交付)は、あらかじめ種別が印字された手帳をお渡ししますの  
で申込する必要はありません。

## シールの申込み方法(どちらかの方法で申請)

### 1 オンラインで申込み

二次元コードからアクセス



### 2 郵送で申込み

申出書(ホームページからダウンロードもしくはチラシの  
裏面)を記入のうえ、封筒に入れて下記送付先に送る

## 郵送申込の送付先・お問い合わせ先

〒231-0005

横浜市中区本町6-50-10 横浜市健康福祉局  
精神通院医療・手帳事務処理センター 運賃割引担当

**TEL.045-662-3548**  
(平日9:00~17:00)

申込み後シールと共に案内をお送りしますので  
案内に従ってご自身でシールを貼り付けてください。



# 横浜市補装具購入等に要する費用の特別助成制度について

## 1 趣旨

補装具費支給制度は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく自立支援給付のひとつであり、市町村が実施主体となっています。

今年度、当該制度に設けられている所得制限に関し、障害児に対する補装具費支給制度における所得制限が撤廃されました。このため、今年度から障害児においては、国制度上全ての方が対象となります。一方で、国制度において障害者に対する所得制限の撤廃は示されていないことから、障害の継続性を考慮し、本市の独自制度として「横浜市補装具購入等に要する費用の特別助成制度」を創設し、令和6年12月1日から制度を開始します。

## 2 横浜市補装具購入等に要する費用の特別助成制度の概要

- (1) 対象者  
本人又は配偶者の市民税所得割額が46万円以上の身体障害者または難病患者等
- (2) 利用者負担  
3割（公費負担 7割） ※ただし公費負担年度上限額は60万円／人
- (3) 対象とする補装具  
18歳未満を対象とする種目を除いた13品目  
※対象の補装具の基準額、耐用年数等は国制度と同様
- (4) 見込対象者数  
320人程度／年
- (5) 制度開始時期  
令和6年12月1日

### 【参考】国制度と本市制度との比較

	国制度	本市制度 (横浜市補装具購入等に要する費用の特別助成制度)
対象者	補装具を必要とする障害者（児）または難病患者等 （市民税所得割額46万円以上の障害者世帯は対象外）	本人又は配偶者の市民税所得割額が46万円以上の身体障害者または難病患者等
利用者負担	原則として、1割負担 （所得に応じ自己負担上限額の設定あり）	原則として3割 （7割公費負担だが、公費負担年度上限額が60万円／人）

	り)	)
たいしょうほそうぐ しゅもく 対象補装具の種目	ほうりつとう さだめ 法律等に定めのある17 ひんもく 品目	ほうりつとう さだめ ひんもく 法律等に定めのある13品目
きじゅんがく たいようねんすう 基準額・耐用年数	ほうりつとう さだめ 法律等に定めのある通り	
せいでかいしじき 制度開始時期	—	れいわ ねん がつ にち 令和6年12月1日

【参考】 現行の補装具費支給制度について

1 概要

補装具とは、身体障害者（児）や難病患者等が、失われた身体機能を補完または代替するための用具です。補装具費支給制度では、費用の一部を支給します。

2 補装具の種類

義肢、車椅子、補聴器など

3 利用者負担

利用者負担額は、原則として、1割負担です。

ただし、世帯の課税状況に応じて、負担上限月額が設定されています。

区分	世帯の課税状況等		負担上限月額
生活保護世帯	生活保護世帯等の方 ※中国 残留 邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国 残留 邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律（平成6年 法律第30号）による支援給付を受けている場合を含む。		0円
低所得	市民税非課税世帯		0円
一般	障害児	市民税課税世帯	37,200円
	障害者	市民税課税世帯であって、市民税所得割額が最も高い方の税額が、46万円未満の世帯	
制度対象外	本人または配偶者の市民税所得割額が、46万円以上の世帯		

※障害児の市民税課税世帯で、最多課税者の市民税所得割額が46万円以上の世帯については、令和6年4月1日より国制度の対象

たきのうがたきよてん かんめ せいびしんちよく  
多機能型拠点(5館目)の整備進捗について

せいびしんちよく  
1 整備進捗について

かんめ たきのうがたきよてんせいび せいびしんちよく  
5館目の多機能型拠点整備については、令和5年度に西区老松町に建設用地を確保し、整備の実施を決定しました。

たきのうがたきよてん せいび みんせつみんえいほうしき  
多機能型拠点の整備は民設民営方式であるため、まず設置・運営法人を選定し、施設の設計から工事、完成後の施設運営まで選定した法人が実施します。今年度、10月より設置・運営法人の公募を開始し、事業の周知・説明を行っています。

こうぼ かん しゅうち せつめい じょうきょう  
(1) 公募に関する周知・説明の状況

- ア 横浜市ホームページへ掲載
  - イ 「障害福祉情報サービスかながわ」のお知らせトップページへ掲載
  - ウ 神奈川県内の社会福祉法人へメールで一斉周知(約500法人)
  - エ 各協議会等へ個別に説明を実施
- 【例】知的関連施設協議会、法人型地域活動ホーム連絡会など
- オ 公募説明会の開催(10/30)

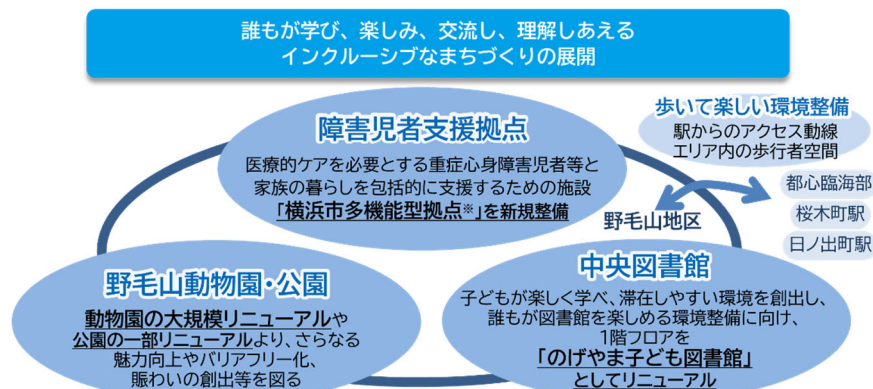
こんご よてい  
(2) 今後の予定スケジュール

れいわ ねんど ほうじんこうぼ 令和6年度 法人公募(10~12月)	れいわ ねんど 令和7年度	きほん じっしせつけい 基本、実施設計
おうぼほうじん 応募法人ヒアリング(1月)	れいわ ねんど 令和8年度	こうじちやうこう 工事着工
ほうじんしせつしんさかい 法人施設審査会(12~3月)	れいわ ねんど 令和9年度	こうじしゅんこう かいしよじゅんび 工事しゅん工・開所準備
ほうじんけつてい 法人決定(3月)	れいわ ねんど 令和10年度	かいしよ 開所

のげやま  
2 野毛山エリアにおける地域・施設間連携によるまちづくりについて

かんめ せいびようち のげやま のげやまどうぶつえん こうえん ちゅうおうとしよかん きょういく たいげん  
5館目の整備用地のある野毛山エリアには、野毛山動物園・公園、中央図書館などの教育・体験施設が集約しています。このエリアに多機能型拠点を整備することを機に、障害のある方、高齢者、子育て世代など様々な人がエリアを楽しみ交流することができるまちづくりを目指しています。

【イメージ】



(1) 取組例①「施設リニューアル」

動物園や図書館の施設リニューアルに合わせ、多機能型拠点を利用する医療的ケアの必要な重症心身障害児者の方も利用がしやすくなるよう、各施設における受入環境整備を行います。

【例】・福祉車両で動物園内まで入れる通路の確保

・ストレッチャーに対応した多機能トイレやエレベーターの設置

・ストレッチャーでも移動しやすい通路幅の確保等のレイアウト作り など

(2) 取組例②「施設間の連携」

動物園や図書館と相互に連携し、日常の支援における外出活動への活用や出張イベント実施等を行い、多機能型拠点利用者をはじめ様々な方の体験機会の充実を行います。

【例】・動物園スタッフによる体験イベント

・図書館スタッフによる読み聞かせ会 など



(3) 取組例③「地域・団体等との対話」

まちづくりを進めていくために、地域や当事者・保護者の方々とエリア見学会や意見交換会を実施しています。いただいた意見は今後の各施設整備や施設連携に反映していきます。

【例】・整備地である西区の障害関係団体と現地見学会や意見交換会を実施

・地区社会福祉協議会や自治会町内会と一緒に勉強会、意見交換会を実施



多機能型拠点の利用者を軸に置きつつ、高齢者や子どもなど様々な人が楽しめるエリア作りを進めていきます。

# 障害者週間イベントの開催について

障害者週間(12月3日～9日)に合わせて「チャレンジドweekフェス in Yokohama 2024」

と題するイベントを開催します。

本イベントは「障害のある人もない人もお互いを大切にし、自分らしく暮らす」をメイン

テーマとしており、令和6年度はより多くの市民に障害の理解を広めるため、横浜市役所

以外の場所でも実施します。

## 1 イベント名

チャレンジドweekフェス in Yokohama 2024

(主催：横浜市健康福祉局、共催：社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団)

## 2 イベント内容

### (1) プレイイベント

日時：令和6年11月30日(土) 10時～16時

場所：新都市プラザ(そごう横浜店地下2階正面入口前)

内容：障害のある人によるライブペインティング・ミニコンサート、

障害者団体による出展 ほか

### (2) 障害者フェア

日時：令和6年12月6日(金) 10時～15時

ばしよ よこはましやくしよ かい 1階アトリウム (よこはましなかくほんちよう  
場所：横浜市役所 1階アトリウム (横浜市中区本町6-50-10)

ないよう しょうがいふくしじぎょうしよ じしゅせいひん はんばい  
内容：障害福祉事業所による自主製品の販売

(3) チャレンジドweekフェス in Yokohama 2024

にちじ れいわ ねん がつ にち ど じ ふん じ  
日時：令和6年12月7日(土) 11時30分～16時

ばしよ よこはましやくしよ かい 1階アトリウム (よこはましなかくほんちよう  
場所：横浜市役所 1階アトリウム (横浜市中区本町6-50-10)

ないよう ． ． ．  
内容：・「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間ポスター」表彰式

がくせい しょうがいふくし かか とりくみはつびよう  
・学生による障害福祉に係る取組発表

しょうがい ひと にほんほじょけんじょうほう  
・障害のある人によるダンス、日本補助犬情報センターによる  
ワークショップ ほか

※ その他、巨大壁画、障害のある人によるアート作品展を開催

にちじ がつ にち すい がつ にち げつ ばしよ よこはましやくしよ かいてんじ  
日時：12月4日(水)～12月9日(月) 場所：横浜市役所1・2階展示スペース

※ 事前申込不要、入場無料

まいとし がつ にち にち しょうがいしゃしゅうかん  
毎年12月3日～9日は障害者週間です。

# チャレンジド Weekフェス

## in Yokohama 2024

れいわ ねん  
令和6年

12/7<sup>土</sup>  
11:30~16:00

さんかひ むりょう じぜんもうしごみふよう  
参加費無料・事前申込不要

かいじょう よこはま しやくしょ  
会場:横浜市役所

かい  
1階アトリウム

よこはまなかほんちょう  
横浜市中区本町6-50-10

しょうがい ひと ひと たが たいせつ じぶん く  
『障害のある人もない人もお互いを大切にし、自分らしく暮らす』を  
メインテーマに、イベントを開催します。

### イベントコンテンツ

- ・「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間ポスター」表彰式
- ・障害のある人によるダンス
- ・学生による取組発表
- ・3種の補助犬デモンストレーション&ユーザートーク
- ・巨大壁画アートの展示ほか
- ・障害福祉事業所の自主製品等の販売



©日本補助犬情報センター

### 11/30<sup>土</sup> プレイベント

時間：10:00～16:00

場所：新都市プラザ(そごう横浜店地下2階正面入口前)

ライブペインティング  
(石原陸郎)

ミニコンサート  
12:30～13:00予定  
(わたなべひろ)



巨大壁画アートの展示 (横浜ラポール)

障害者団体による出展 (横浜市身体障害者団体連合会)

参加費無料  
事前申込不要

### 12/6<sup>金</sup> 障害者フェア

時間：10:00～15:00

場所：横浜市役所1階アトリウム

障害福祉事業所が焼き菓子や  
手工芸品などの自主製品を  
販売します。



※イメージ



「-TOUMEI 透明 2024-」巨大壁画アート展示

問合せ先: 横浜市健康福祉局障害施策推進課  
電話: 045-671-3598 FAX: 045-671-3566

主催: 横浜市健康福祉局  
共催: 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

12/7 <sup>ど</sup> **土**

ばしょ よこはま しやくしよ かい  
場所：横浜市役所 1階アトリウム

ステージプログラム

- 11:30～12:00 <sup>しょうがい</sup> <sup>ひと</sup>  
障害のある人によるダンス  
<sup>しゅつえん</sup>  
出演：Haribooo/STEP IN THE LIFE/JUMP
- 12:15～12:30 <sup>こころ</sup> <sup>わ</sup> <sup>ひろ</sup> <sup>たいけんざくぶん</sup> <sup>およ</sup> <sup>しょうがいしやしゅうかん</sup> <sup>ひょうしょうしき</sup>  
「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間ポスター」表彰式
- 12:40～13:10 <sup>がくせい</sup> <sup>ふくしじんざい</sup> <sup>かくほ</sup> <sup>とりくみしょうかい</sup>  
学生による福祉人材確保の取組紹介  
<sup>いわさきがくえん</sup> <sup>よこはま</sup> <sup>せんもんがっこう</sup>  
(岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校)
- 13:20～13:50 <sup>がくせい</sup> <sup>とりくみはびょう</sup> <sup>よ</sup> <sup>たす</sup> <sup>あ</sup> <sup>じつげん</sup> <sup>む</sup>  
学生による取組発表～より良い助け合いの実現に向けて～  
<sup>がっこうほうじんせいさ</sup> <sup>せいさこうとうがっこう</sup>  
(学校法人星槎 星槎高等学校)
- 14:00～14:45 <sup>しゅ</sup> <sup>ほじょけん</sup>  
3種の補助犬デモンストレーション&ユーズートーク  
<sup>にほんほじょけんじょうほう</sup>  
(日本補助犬情報センター)
- 15:00～15:30 <sup>しょうがい</sup> <sup>ひと</sup>  
障害のある人によるダンス  
<sup>しゅつえん</sup> <sup>みなわかい</sup>  
出演：美奈和会/FUNSTAR/ダンス@しんよこ

ちゅうもく

注目コンテンツ

じかん

時間：11:30～16:00

- <sup>しょうがいふくしじぎょうしよ</sup> <sup>つく</sup> <sup>ざっかとう</sup> <sup>はんばい</sup>  
■障害福祉事業所で作ったパン・インテリア雑貨等の販売
- <sup>にほんほじょけんじょうほう</sup>  
■日本補助犬情報センターによるワークショップ

さくひん てんじ

作品展示

<sup>きかん</sup> <sup>がつ</sup> <sup>にち</sup> <sup>すい</sup> <sup>にち</sup> <sup>げつ</sup>  
期間：12月4日(水)から9日(月)

<sup>ばしょ</sup> <sup>よこはま</sup> <sup>し</sup> <sup>やくしよ</sup> <sup>かい</sup>  
場所：横浜市役所 1・2階

- <sup>しょうがい</sup> <sup>ひと</sup> <sup>きょだい</sup> <sup>へきが</sup> <sup>てんじ</sup>  
●障害のある人×Kensuke Takahashiによる巨大壁画アート<sup>の</sup>展示
- <sup>しょうがい</sup> <sup>ひと</sup> <sup>げいじゅつざくひんてん</sup> <sup>ほか</sup> <sup>よこはま</sup>  
●障害のある人による芸術作品展 他(横浜ラポール)



※昨年度の展示の様子



※昨年度の展示の様子

